

令和七年度 田園自然再生活動 の集い

～「千」の「地」の「知」～
数多の土地の農に関わる継承知



日本では四季の自然の変化や農の営みを通じて多くの工夫や知恵を蓄えてきました。地域の暮らしや文化の中で重要な役割を果たして伝えられてきた「農に関わる伝承知」に着目し、その価値や田園自然再生との親和性について考えます。

CPD 認定プログラム
(3 CPD)

参加無料

2025年12月11日(木) 12:30～16:30 (受付開始:12:00)
東京国際フォーラム ホール D5 (WEB 配信併用)

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

主催

(一社) 地域環境資源センター
田園自然再生活動協議会

後援

農林水産省、環境省
全国農村振興技術連盟、(公社) 農業農村工学会、農村計画学会
棚田学会、(一財) 日本グラウンドワーク協会

申込

(一社) 地域環境資源センター
田園自然再生活動事務局

TEL : 03-5425-2461
E-mail : denen-saisei@jarus.or.jp
URL : <https://www.jarus.or.jp/>

プログラム



令和7年度 田園自然再生活動の集い

- 12:30 開 会
- 12:30 主催者挨拶 中村 桂子 (田園自然再生活動協議会 会長)
- 来賓挨拶 石川 英一 (農林水産省農村振興局整備部 部長)
- 来賓挨拶 西村 学 (環境省自然環境局自然環境計画課 課長)
- 12:50 講 演 『農に関わる「伝承知」
ー民俗学における農の伝承知と循環型社会を考えるー』
中山 正典 (静岡県立農林環境専門職大学 客員教授)
- 13:50 活動発表 『山ざとの農と暮らしは必要か？
～「人間の安全保障」としての伝承知～』
三輪 芳和 (新潟県・川谷もよりの将来をみんなで考える会)
- 『むらの自然や文化をいかす
～古瀬の会と葛飾の博物館の交流誌～』
小菅 新一 (茨城県・NPO 法人古瀬の自然と文化を守る会)
小峰 園子 (東京都・葛飾区郷土と天文の博物館)
- 『<聞き書き甲子園> 昔と未来をつなぐ
～100年前の品種「亀ノ尾」と生きる～』
稲見 華 (山形県・山形県立米沢女子短期大学)
- 14:45 コメント 中村 桂子
(JT 生命誌研究館 名誉館長・田園自然再生活動協議会 会長)
- 14:55 — <休 憩> —
- 15:10 パネルディスカッション
コーディネーター：荘林 幹太郎 (総合地球環境学研究所 特任教授)
コメンテーター：中山 正典 (静岡県立農林環境専門職大学 客員教授)
林田 直樹 (地域環境資源センター 理事長)
パネリスト：活動発表者
- 16:30 閉会挨拶
- 16:35 閉 会

出演者紹介



中村 桂子

JT 生命誌研究館 名誉館長、田園自然再生活動協議会 会長

東京都出身。理学博士。生命誌の提唱者。

三菱化成生命科学研究所、早稲田大学人間科学部教授、大阪大学連携大学院教授などを歴任。

生命誌を提唱し 1993 年 JT 生命誌研究館を創設して副館長。2002 年館長、2020 年より現職。

2003 年～2011 年 (社) 農村環境整備センター (現 地域環境資源センター) 理事長。

著書：『生命科学から生命誌へ』(小学館)、『ゲノムが語る生命—新しい知の創出』(集英社新書)、

『科学者が人間であること』(岩波新書)、『老いを愛づる 生命誌からのメッセージ』(中公新書ラクレ)、

『人類はどこで間違えたのか—土とヒトの生命誌』(中公新書ラクレ) 他多数。



荘林 幹太郎

総合地球環境学研究所 特任教授 (プログラムディレクター)

兵庫県出身。博士 (農学)。専門は農業政策、農業貿易と環境。

1982 年農林水産省入省、世界銀行南アジア 3 局、農林水産省構造改善局、OECD 食料農業水産局、

滋賀県農政水産部、農林水産省農村振興局等、2007 年学習院女子大学教授、2017 年学習院女子大学

副学長、2023 年 4 月より現職。

著書：『日本の農業環境政策—持続的な美しい農業・農村を目指して』(農林統計協会)、『世界

の農業環境政策—先進諸国の実態と分析枠組みの提案』(農林統計協会)、『農業直接支払いの概

念と政策設計—我が国農政の目的に応じた直接支払い政策の確立に向けて』(農林統計協会) 他。



中山 正典

静岡県立農林環境専門職大学 客員教授

静岡県出身。博士 (学術)。専門は日本民俗学、人文地理学。

静岡県立磐田南高校副校長を定年退職後、静岡県立農林環境専門職大学准教授、愛知大学・静岡大

学非常勤講師。寺谷用水 (磐田市) の「世界かんがい施設遺産」登録申請に携わる。国指定重要無

形民俗文化財見付天神裸祭保存会長。

著書：各地の農業用水における水利慣行と人神について、フィールドワークに基づいて描き出した

『農と水の民俗：人神信仰と農業用水』(昭和堂)、その他に『風と環境の民俗』(吉川弘文館)、

『富士山は里山である』(農文協) など。



林田 直樹

(一社) 地域環境資源センター 理事長

福井県出身。専門は農業工学。

1977 年農林水産省入省 (構造改善局設計課)、在フィリピン日本国大使館、富山県農地林務部、中

国四国農政局建設部設計課、関東農政局次長、大臣官房審議官 (国際)、農村振興局次長を経て 2013

年農水省退官。全国農村振興技術連盟委員長、(公社) 農業農村工学会副会長、日本 I C I D 協会会

長などを歴任し、2022 年より現職。

農業・農村振興の発展に尽力し、農業土木技術者の育成にも努めている。

パネリスト



川谷もよりの将来を みんなで考える会

(新潟県上越市)

事務局長

三輪 芳和



NPO 法人古瀬の自然と 文化を守る会

(茨城県つくばみらい市)

事務局長

小菅 新一



聞き書き甲子園

(山形県庄内町)

山形県立米沢女子

短期大学 1 年

稲見 華



葛飾区郷土と天文の 博物館

(東京都葛飾区)

学芸員

小峰 園子